

(2) 言語活動と扱う教材

本単元「テーマを決めて、本をしょうかいしよう」では、まず「ごんぎつね」を学習する。「ごんぎつね」では、叙述を基にして、ごんが兵十につぐないをしようと思った訳や、ごんと兵十の気持ちが変わり変わっていく様子を中心に、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて想像したことをじっくりと読み味わいたい。情景描写をイメージ豊かに読むことで、物語を読み味わう楽しさを満喫することができると考える。さらに、「ごんぎつね」を学習した後に、お話のあらすじや心に残っている場面をもとに自分が感じた「ごんぎつね」の魅力や友だちに伝え合う活動を取り入れることで、互いの物語に対する感じ方の違いに気付くような学習を進めていく。この学習をもとに、『読書発表会』をしよう」では、ブックトークをする言語活動を行う。ブックトークを行う時の工夫について、教科書では、次の3つの例が挙げられている。

- ① 新美南吉という同じ作者に焦点を当てながら、作品のもっている世界観を読み取り、同様の傾向をもつお話を選んだ理由を明らかにしながら紹介している例。
- ② 「冒険」というテーマで、音読を取り入れたり、結末を伝えずに続きを読みたいと思わせたりする手法を学ぶ例。
- ③ 「自分の経験と関連させて」紹介したり、心に残った場面を絵とともに紹介したりする例。

これらを参考に、ブックトークの工夫について確認した後、「ごんぎつね」で学習したことから各自でテーマを決め、関連する本を2～3冊選んでブックトークをしていく。これは、小学校学習指導要領・国語【第3学年並びに4学年】の「C 読むこと」における(2)言語活動 例エ「紹介したい本を取り上げて説明すること」を踏まえている。

ブックトークとは、テーマを決め、それをもとに関連のある本を読み進める中から紹介したい本を何冊か選び、短いコメントを加えながら順序立てて次々に本を紹介するという活動である。本単元では、「ごんぎつね」で学習した「きつね」「一人ぼっち」「命」などのキーワードの中からテーマを決めて、関連する自分の好きな本を中心に選書をさせたい。紹介者が一人1～3冊の本を紹介するので、聞き手としてはグループの4人の発表を聞くと3～9冊の本を知ることができる。子ども達は、その中から新たな興味関心をかき立てられたり、次に読みたい本を見つけたりするだろう。

ブックトークは、子ども達が初めて取り組む活動である。学習の導入で図書館指導員のブックトークを実際に聞き、各自が学習のめあてをもつことができるようにしたい。話し手は、紹介する本について改めて読み直ししながら、登場人物の性格やあらすじ、気に入っているお勧めの文章などをワークシートに書き出し、友だちに紹介したい内容をはっきりさせる。そして、紹介したい本のよさがより伝わりやすくなるように、挿絵を見せたり、音読をしたり、結末までは話さずに興味をひくようにしたりするなど、各自で工夫をさせるようにしたい。聞き手側の学習においては、読書発表会で紹介された本の中から、次に読んでみたい本を選ぶ活動を取り入れる。一人の本の紹介が終わる度に、聞き手側の子ども達は自分が読みたい本を発表し、なぜその本を選んだのか、理由を伝えるようにすれば、話し手側は紹介した本魅力を伝えられたかどうか、自己評価することができるものと考えられる。紹介した本は、読書発表会後はしばらくブックトラックに載せておき、友だちのお勧めの本を読み味わう時間を確保する。そして、読んだ本については、一言感想をメモに書き、お勧め本の紹介シートに貼って交流を重ねるよう

にする。そうすることで、友だちの読書について知ったり、自分がこれまで読まなかったジャンルの本に挑戦したりすることができ、さらに読書生活を広げ楽しむことができるようになると思う。

(3) (1) と (2) の基盤となる言語環境や継続的な取り組み

○年間を通しての読書貯金への取り組み

3年生から継続して読書貯金に取り組んでいる。子ども達は読書後、書名、一言感想を書き溜めてファイリングしている。毎月末には図書係が冊数を数え、賞状やメダルを渡して多読を奨励している。ジャンルやページ数に制限は無く、一人ひとりがそれぞれの関心・意欲に基づいて進めている。これまでの読書経験を振り返る材料として読書貯金が活用できると考える。

○図書室の活用と図書館指導員との連携

図書の時間には担任による1、2冊の読み聞かせを行っている。子ども自らでは手に取らないようなジャンルのお話にも、読み聞かせを通して親しみ、新たな興味関心を開拓できればよいと思って継続している。

また、国語や社会科での学習を深めるために、学習に関連する図書を学年で常に利用できるようブックトラックに載せて廊下に置き、すぐに手に取ることができる環境づくりをしている。

4年生になってから図書室の割り当てが変わり、図書館指導員のいない曜日での利用になっている。5月に「分類をもとに本を見つけよう」の学習を行ったことで、日本十進分類法という方法で本が探しやすく配架されていることを知ったため、図書館指導員がいなくとも、読みたい本がどこにあるか、ある程度は探すことができるようになった。しかし、「こんな本が読みたい」というぼんやりとした子ども達の希望には添えないことが多いため、図書館指導員との連携は必要である。本単元で取り組むブックトークについても、図書館指導員にブックトークの仕方を教えていただき、各自が学習のめあてをもつための一助にしたいと考える。また、テーマに基づいた本を探すために、学校の図書室だけでなく、地域の公民館や図書館で図書館司書に相談してもよいことを知らせることで、さらに、図書館の活用を促していくようにする。

5 単元の指導計画 (15時間扱い)

主な学習活動と内容	指導や支援の手立て
<p>ごんや兵十の移り変わっていく行動や気持ちを、想像豊かに読む。</p>	
<p>第一次</p> <p>○担任によるお話の紹介を聞き、学習の見通しをもつ。 1</p> <p>○ごんの性格について話し合う。 2</p> <p>○ごんや兵十の気持ちがわかる表現を場面ごとに書き出し、気持ちの移り変わりを話し合う。</p> <p>○なぜ、ごんはつぐないをしようとしたのかを考える。 3～6</p> <p>○自分が感じた「ごんぎつね」のお話の魅力を互いに紹介し合う。 7～8</p>	<p style="text-align: center;">並 行 読 書</p> <p>○同じ作者の「花のき村と盗人たち」のお話の紹介をし、「ごんぎつね」の学習の最後に、自分だけのごんぎつねのお話の魅力を紹介し合うことを伝える。</p> <p>○登場人物を確認し、語って聞かせている話であることを確認する。</p> <p>○ごんの行動や様子がわかる部分をもとにごんの性格を考えることができるようにする。</p> <p>○ごんや兵十の言葉や行動から、ごんの気持ちの移り変わりを考えることができるようにする。</p> <p>○この物語の心に残った場面、あらすじなどを登場人物などを中心に、テーマを決めて「ごんぎつね」を紹介できるようにする。</p>
<p>『読書発表会』をしよう」を読み、学習への見通しをもつ。</p>	
<p>第二次</p> <p>○『読書発表会』をしよう」の全文を通読し、発表例からブックトークの工夫を知る。</p> <p>○図書館指導員のブックトークを聞く。 9</p> <p style="text-align: center;">各 自 の テ マ に 基 づ い て 紹 介 し た い 本 を 集 め 、 な ぜ そ の 本 を 紹 介 し た い の か 、 そ の 思 い を 相 手 に わ か り や す く 伝 え ら れ る よ う に 、 メ モ を 書 い た り 発 表 の 練 習 を し た り す る。</p> <p>○「ごんぎつね」から考えたテーマの中で、自分のテーマを決めて、ブックトークを行うことを知る。 10</p>	<p>○図書館指導員によるブックトークを実際に見たり留意点などを聞いたりして、取り組み方を知ることができるようにする。</p> <p>○図書館指導員によるブックトークと、教科書の本文にある工夫の仕方を重ね合わせながらブックトークの行い方を知り、学習のめあてをもてるようにする。</p> <p>○テーマについて話し合い、友だちに紹介したいテーマを改めて選ぶようにする。</p> <p>○テーマに沿って集めた本を例示しておき、集め方やテーマの決め方の参考になるようにする。</p>

	<p>○テーマに関連する本を1～3冊集める。 (配当時間外)</p>	<p>並 行</p>	<p>○これまでの読書貯金を振り返り、その中からテーマに沿った本を探してもよいことを伝える。</p>
	<p>○紹介する本を決め、ブックトークの仕方を考える。 [11]</p>	<p>読 書</p>	<p>○「ごんぎつね」の学習で行ったお話の魅力紹介を生かし、心に残った場面やあらすじ、登場人物について自分が感じたことなどをメモしておき、考えを深められるようにする。</p>
	<p>○ブックトークの発表メモを作り、練習をする。 [12]、[13]</p>		<p>○聞き手にわかりやすいように紹介する順番や方法を考えることを伝える。</p>
<p>第三次</p>	<p>「読書発表会」をして、おすすめの本を友だちに紹介しよう。</p>		
	<p>○グループごとに集まり、互いの本を紹介し合う「読書発表会」をし、興味をもった本を選ぶ。 (本時) [14]</p>		<p>○紹介した本は自分の前に並べ、いつでも手に取れるようにし、必要があればページを開いて見せながら紹介するようにする。 ○紹介された本の中から、読んでみたいと思った本を選んで読書をし、感想をカードに書いて相手に伝え、読書を楽しむ意欲をもつようにする。</p>
	<p>○「読書発表会」で興味をもった本を読み、読後の感想を書いた「ひとことカード」を交換し、交流し合う。 [15]</p>		<p>○読後の感想を書く「ひとことカード」を用意しておき、1冊読み終わるごとに書き溜めておくようにする。 ○紹介者の本のテーマ、題名、作者名が書かれた一覧表に「ひとことカード」を貼り、振り返りができるようにする。</p>

6 本時の目標と展開

(1) 本時の目標

○本の魅力を伝える工夫をしながら、お勧めの本を紹介し合うことができる。

(読むこと)

(2) 本時の展開(14 / 15)

主な学習活動と内容	指導や支援の手立て (◇評価)
<p>1 学習の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> グループごとに読書発表会を行い、次に読んでみたい本を選ぶことを伝える。 <p>2 本時の学習課題を提示する。</p>	<p>○『読書発表会』をしよう」の学習を振り返り、本日の学習課題に意欲をもてるようにする。</p> <p>○自分が紹介したい本を見せながら、その本の魅力が相手に伝わるように話すことを伝える。</p> <p>○聞き手は、紹介された本の中から、読んでみたいと思った本を1冊選ぶことを伝える。</p>
<p>紹介したい本の魅力を伝え合おう。</p>	
<p>3 グループごとに集まり、読書発表会を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 紹介したい本の魅力が伝わるように、あらすじや心に残った場面、伝えたいと思ったところの音読などを取り入れて紹介する。 話し手は本を自分の前に並べて、見せながら紹介する。 聞き手は、興味をもった本に印をつけたり簡単な内容を書き込んだりしながら紹介を聞く。 <p>4 読書発表会を終えたグループから、学習の振り返りカードを書く。</p> <p>(話し手)</p> <ul style="list-style-type: none"> 本の魅力を伝えることができたか。 <p>(聞き手)</p> <ul style="list-style-type: none"> 友だちが紹介した本の魅力が伝わってきたかどうか。 	<p>○今後の読書生活の広がりにつなげるために、できる限りテーマの違う本を選んだ友だちと交流できるようにグループを組む。</p> <p>○たくさん本を知ることができるようにするために、4人グループを作り、本の紹介を聞くことができるようにする。</p> <p>○読書発表会で紹介した本は、近くに並べておきすぐに手に取ることができるようにする。</p> <p>○一人の発表が終わったら少し時間をとり、ブックリストを活用して、興味をもった本に◎○の印をつけたり、短いコメントを書き込んだりできるようにする。</p> <p>○振り返りカードに自己評価と感想を記入するようにする。</p> <p>(話し手)</p> <p>○友だちに本の魅力を伝えられたか、確認するようにする。</p> <p>(聞き手)</p> <p>○読みたいと思った本について、その本のどこに魅力を感じたのか、感想を書くようにする。</p>

<p>・振り返りが終わったら、読みたいと思った本を手に取り、読む。</p> <p>5 学習の振り返りをする。 (話し手)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書発表会を聞いてくれた友だちが、自分の勧めたあらすじに興味をもって本を選んでくれてうれしかった。 <p>(聞き手)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主人公の気持ちをもっと知りたいと思ったから、この本を読もうと思った。 ・続きがとても気になったから、この本を選んだよ。 <p>6 今後の活動の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書発表会で紹介された本を読んだ後は、読後の感想を「ひとことカード」に書き、一覧表に貼って、交流することを知る。 	<p>○読みたいと思った本をすぐに手に取れるようにし、意欲が高いうちに読書を楽しめるようにする。</p> <p>○振り返りカードに書いた内容を全体で話し合い、本の魅力を互いに伝え合えたかどうか、確認する。</p> <p>○読みたいと思った本について、その本のどこに魅力を感じたのか、感想を聞き合うようにする。</p> <p>◇紹介する本のあらすじを伝えたり、心に残った場面やお勧めしたいと思ったところを音読したりすることで、本の魅力を伝え合っている。 (読むこと)</p> <p>○紹介した本のテーマ、題名、作者名を書いた一覧表と、感想を書く「ひとことカード」を見せて、本を読み終わったらカードを書いて一覧表に貼っていくことを知らせる。</p>
---	--